



Gd-IgA1 Assay Kit

IgA腎症のバイオマーカー

- 研究用試薬 -

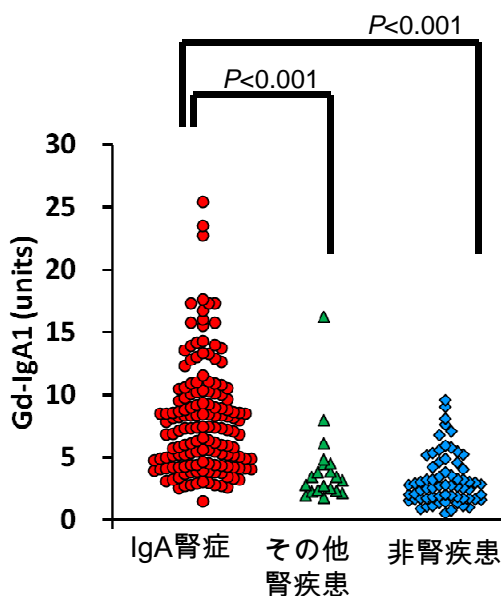
製品番号	製品名	定価 (税別)	容量	反応時間、条件	測定範囲 (ng/mL)	対象検体
27600	Gd-IgA1 (Galactose-deficient IgA1) Assay Kit-IBL	120,000円	96 Well	1 st : 常温 60分 2 nd : ~常温 30分 Chromogen: 常温 30分	1.56 ~ 100	ヒトの血清および EDTA血漿

近年、**ガラクトース欠損型糖鎖異常IgA1 (Galactose-deficient IgA1; Gd-IgA1)** は、IgA腎症患者の病態発症および進展に關与する因子として注目を集めています。ヒトIgA1分子の重鎖ヒンジ領域にはO結合型糖鎖修飾領域があり、IgA腎症患者ではGd-IgA1として血中を循環していると考えられています。

カタツムリ (Helix aspersa; HAA) から抽出したレクチンを用いた測定系がこれまでの数々の研究にて使われており、それらの研究の結果、IgA腎症患者における血清Gd-IgA1レベルが、健常者あるいは非IgA腎症患者に比べて高値であることが示され、血清Gd-IgA1を測定することの意義と重要性が認識されつつあります。しかしながら、HAAレクチンを用いた測定系は、その糖鎖認識活性の不安定性から、大規模多検体の測定には適さないため、それに代わる、正確かつ信頼できるデータ採取が可能であり、血清中のヒトGd-IgA1を定量できる測定系の開発は必須であり急務とされてきました。

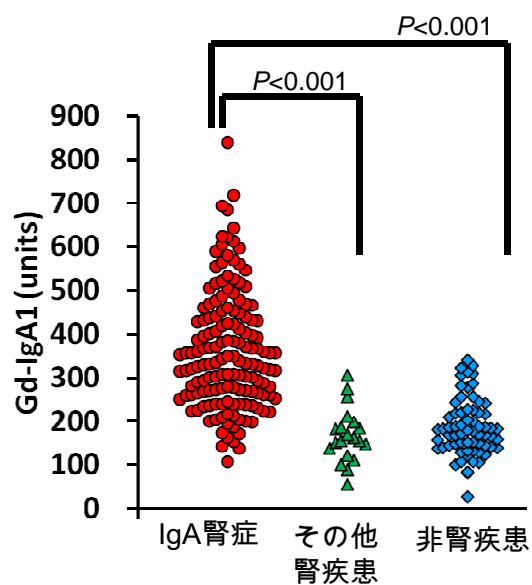
本IBL ELISAキットは、ヒトGd-IgA1のガラクトース欠損ヒンジ配列を特異的に認識するモノクローナル抗体を用いたレクチン非依存的な測定系であり、安定して血清中のヒトGd-IgA1を定量できることから、大規模な試験にもご利用頂けます。

血清中Gd-IgA1 測定データ比較



27600 IBL Gd-IgA1 (KM55) ELISA

1 unit = 1 µg/mL enzymatically generated Gd-IgA1



従来の測定系 (Lectin) Assay

unit = O.D. x IgA concentration (µg/mL)

【参考文献】

Novel lectin-independent approach to detect galactose-deficient IgA1 in IgA nephropathy. Yasutake J et al. Nephrol Dial Transplant. 2015 Aug;30(8):1315-21.



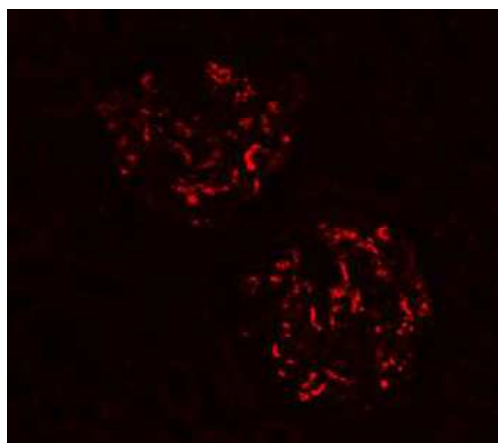
Gd-IgA1 (KM55) 抗体

IgA腎症のバイオマーカー

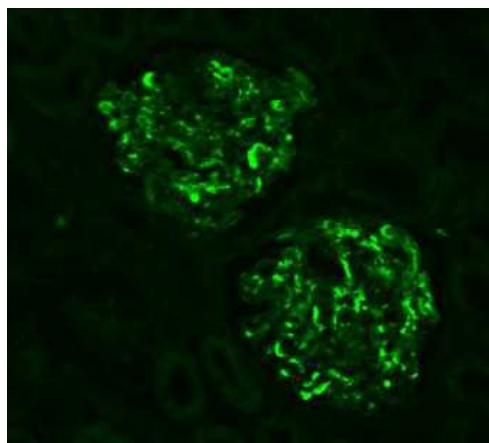
- 研究用試薬 -

製品番号	製品名	定価 (税別)	容量	アプリケーション	使用方法
10777	Anti-Human Gd-IgA1(KM55) Rat IgG MoAb	69,000円	100 μ G	IHC	免疫組織染色 100 μ g/mLにて使用可能。ホルマリン固定後のパラフィン包埋切片で抗原賦活化処理を行う必要があります。 抗原賦活化処理方法: 脱パラフィンおよび再水化後にプロテアーゼ処理を室温で2時間行います。 (推奨; Sigma社sbtilisin A)
		15,000円	10 μ G		

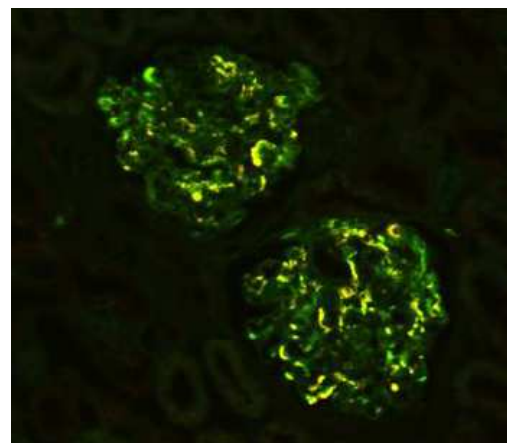
染色イメージ



抗KM55抗体



抗IgA抗体



Mergeイメージ

【Reference】

Yasutake et al. Nephrol Dial Transplant (2015) 30: 1315–1321

取扱い販売代理店